

## 利用ケース紹介

### 復職がうまくいかず、当施設利用後に一般企業への就労

20代 男性  
自動車事故による脳挫傷  
高次脳機能障害

自動車事故後に、注意力と記憶力の低下がみられた。病院のリハビリ終了後に復職。復職後に仕事上でのミス指摘されることが増える。



奈良県高次脳機能障害支援センターに相談。



「仕事でミスをしたくない！」自立訓練センターでグループ脳トレやマット訓練を受講。



訓練を通じて、ご自身の認知機能の特性に気づき、また同じような境遇の仲間との出会いにより、徐々に仕事への自信を高める。

訓練と平行して、就職活動を行い、他府県の一般企業に就職が決まった。

### 当施設について

施設名称: 奈良県障害者総合支援センター  
自立訓練センター

住所: 〒636-0345  
奈良県磯城郡田原本町大字多722

### お問い合わせは

TEL・FAX **0744-32-0209**

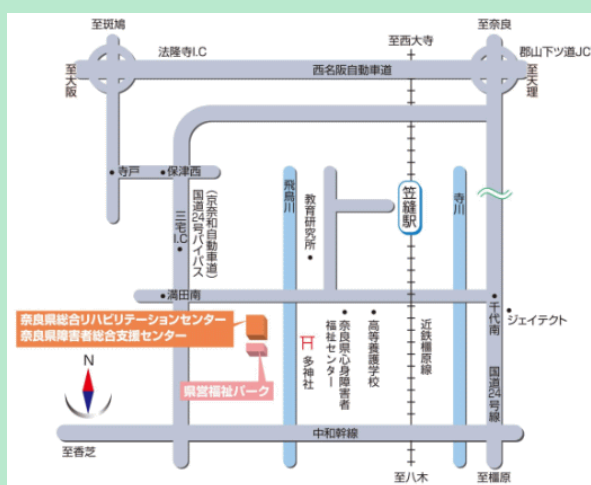
(受付時間 10:00～16:00)

Email: narareha-jikun@nara-sfj.or.jp

訓練の詳細や利用の流れなど、くわしくは 自立訓練センターのHPをご覧ください。



### 当施設へのアクセス



#### <交通機関>

近鉄田原本駅・無料送迎バス約10分  
又はタクシー約10分  
近鉄笠縫駅・・・1.3km 徒歩約20分  
近鉄八木駅・・・タクシー約15分

#### <車でアクセス>

- 西名阪道郡山下っ道JCTより京奈和自動車道 橿原方面へ入り、三宅IC出口から約10分
- 国道24号線「千代南」交差点を西進約5分

高次脳機能障害に対応した福祉サービス

機能訓練  
生活訓練

自動車事故・脳出血にあつてから、  
こんな症状はありませんか？

- ・考えがまとまらない
- ・以前できていたことに  
時間がかかるようになった
- ・忘れっぽくなった

奈良県障害者総合支援センター  
自立訓練センター



脳血管障害  
自動車事故

急性期  
受傷・発症

治療

リハビリ・療養期  
症状固定

後遺障害

社会復帰  
地域復帰

高次脳機能障害は、外見からは分かりにくく、事故からしばらくして日常生活に戻った  
ころに症状に気が付くことがあります。病院で身体の治療・リハビリが終了していても、  
福祉サービスを利用して、身体機能や認知機能の訓練を続けることができます。



地域生活を  
バックアップ

### 奈良県障害者総合支援センター自立訓練センター 高次脳機能障害に対応した自立訓練（福祉サービス）

## 身体機能に特化した機能訓練

ただ“歩く”だけを目的とせず、社会に復帰したときに必要な  
体力・移動手段・日常生活動作スキルなどの獲得に向けた総合的な  
身体機能訓練を提供します。

抗重力の考え方に基づいた  
身体機能訓練

■提供している訓練

基礎体力に特化した訓練

歩行訓練  
マット訓練  
PT訓練

応用訓練

ADL・IADL訓練

ADLグループ訓練  
実践移動訓練  
OT訓練

個別脳トレ  
パソコン  
ツールペイント



訓練作品  
（切り絵）



## 認知機能に特化した生活訓練

注意障害・記憶障害・遂行機能障害それぞれへのアプローチだ  
けでなく、それらの認知機能を支える身体機能へアプローチをす  
ることで、脳の機能への総合的な訓練を提供します。

神経心理ピラミッドに基づいた  
全人的アプローチ

■提供している訓練

認知機能低下に特化した訓練

自己の  
気づき  
遂行機能  
記憶  
情報処理  
注意力・集中力  
抑制・発動性  
覚醒・心的エネルギー

応用訓練

個別脳トレ  
パソコン  
ツールペイント

グループ脳トレ  
注意  
記憶  
遂行

認知機能を支える  
身体機能訓練

歩行訓練  
マット訓練  
OT訓練



\* 出典：ニューヨーク大学「ラスク研究所」